

5. 緑の基本理念

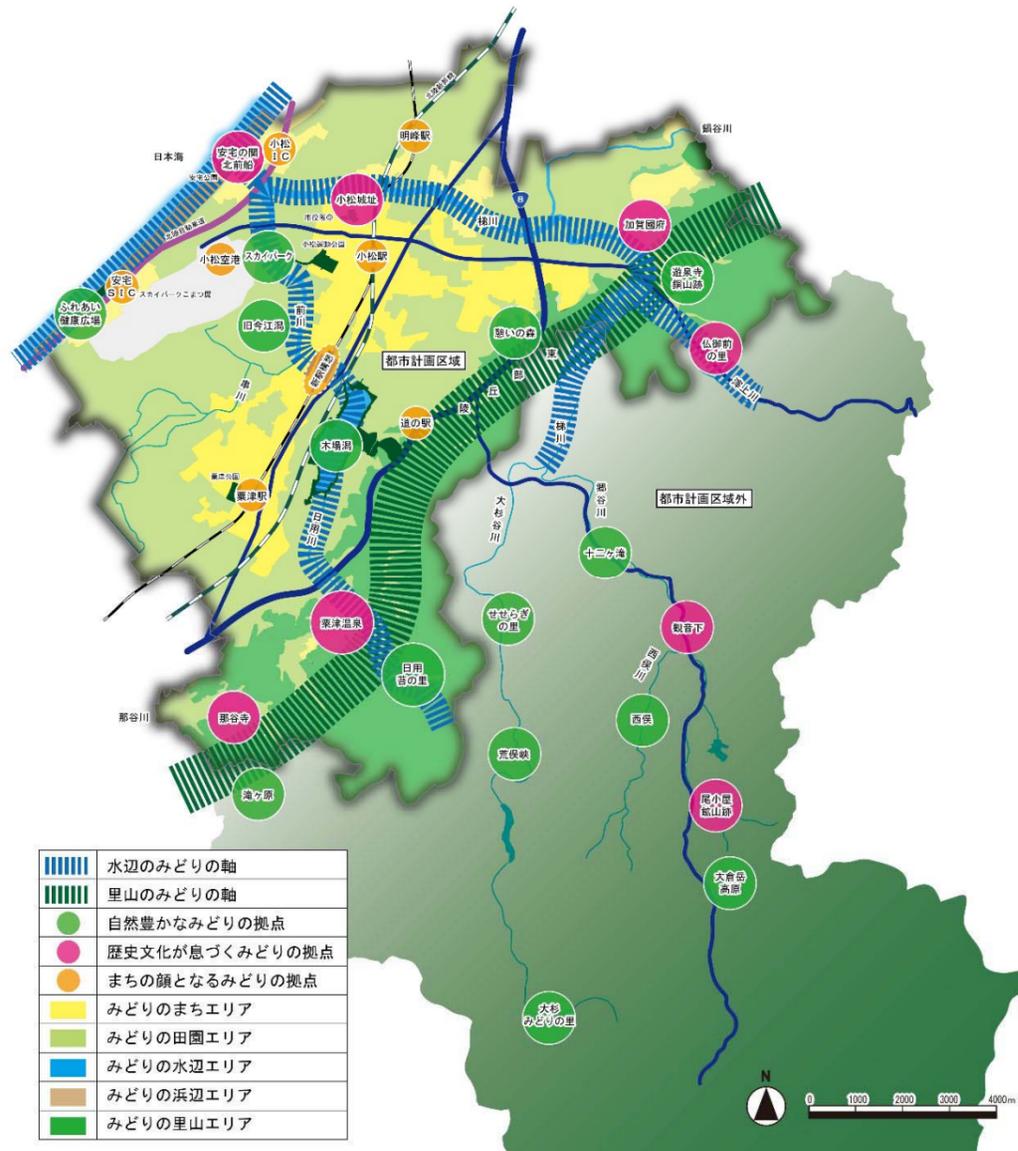
ふるさとこまつの「みどり」を未来へつなぐ

～市民共創でつくる花・水・樹のまちづくり～

小松市は、雄大な白山連峰を望み、多様な地形による豊かな自然環境を有し、動植物を育むとともに、山々を源として発した豊富な水が恵みを与え、日本海に注ぐ中で、人々の営みとともに水郷のまちとして独自の風景が様々な見られます。そして、先人たちによって大切に守り、育てられてきた風景は、市民生活に安らぎを添えるとともに地域の活力に寄与しています。

このような多様な生物を育み、市民生活に安らぎを与え、地域の活力に寄与する“みどり”を市民共有の財産として次世代へ引き継いでいくこととし、「ふるさとこまつの『みどり』を未来へつなぐ」を基本理念とします。

【緑の将来像】



【緑の将来像】

緑の将来像は、基本理念に基づき、本市が将来目指すべき緑の構造を図として考えているもので、今後の緑のまちづくりにおいて、骨格となる緑を示しています。

緑が持つ、環境保全、レクリエーション、防災、良好な景観形成、市民共創といった多機能をふまえ、「みどりの拠点」と「みどりの軸」をつないだ「水とみどりのネットワーク」を形成し、みどりのまちづくりのトップランナーとして世界に発信します。

緑の将来像を構成する要素

みどりの拠点	
自然豊かなみどりの拠点	里山・海岸・河川地域等で公園緑地を形成する拠点
歴史文化が息づくみどりの拠点	観光資源、歴史文化資源等が集積する拠点
まちの顔となるみどりの拠点	鉄道駅、空港、高速IC、道の駅等の交通結節点を形成する拠点

みどりの軸	
水辺のみどりの軸	梯川、前川、木場潟、日用川、日本海等の水辺を形成する軸
里山のみどりの軸	東部丘陵地や背後の中山間地の山林等を形成する軸

みどりのエリア	
みどりのまちエリア	主に市街化区域
みどりの田園エリア	主に農業振興地域
みどりの水辺エリア	主に河川、潟湖、海岸
みどりの浜辺エリア	主に海岸部の保安林及びその他海岸林
みどりの里山エリア	主に地域森林計画対象民有林